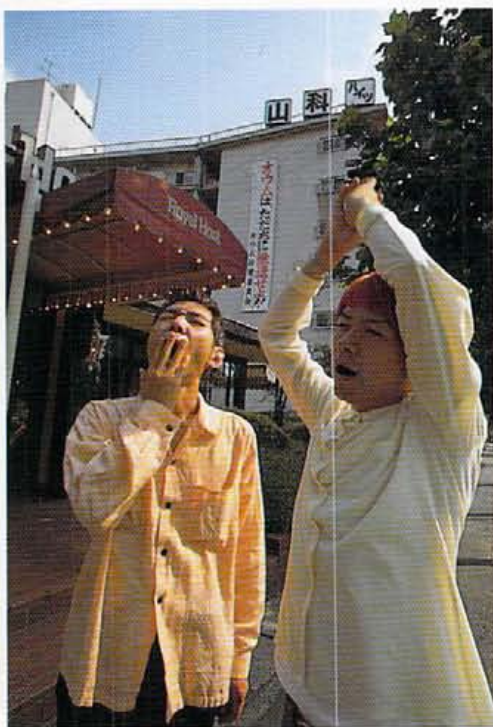
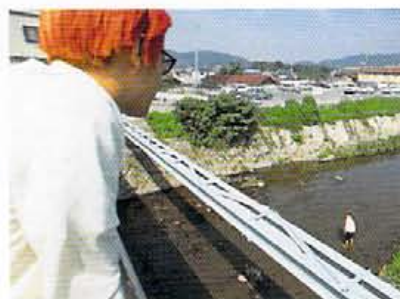


待ち合わせは朝9:00。そりゃねむおす。



「ベリカンおったでベリカン! (カモじゃ)」「弱れてや (いやじゃ)」「足切れえ (うるさい)」「なんや相方は高いとこから好きなこと言うてます。」



赤いほすば たのしみは 標榜の町



僕の淡い思い出話にあらうことが笑いで出すのが相方です。そういうヤツです。ええそういうヤツですとも。



のイズ プロフィール

松竹芸能が放つ新進気鋭の漫才コンビ。超シュールで、それでいてどこまでも庶民的という独特なラインのコントネタを武器に装備し、お笑い界に挑む。

久田 俊裕

- 生年月日 昭和44年12月24日
- 出身地 大阪府
- 趣味 バンクミュージック、パンク文化、ビビアン・ウエストウッド
- 特技 パチンコ
- セールスポイント 男のしぶさ
ポケながらこのコーナーのストーリーテラーの片翼を担う。天才肌。



池上 雅彦

- 生年月日 昭和39年3月3日
- 出身地 京都府
- 趣味 読書、映画、動物園、水族館
- 特技 スポーツ
- セールスポイント 古都のジョン・ローン、または山科のトータス松本、または京都出身ということで、このコーナーの狂言まわしを務める。つつこみ担当。

クラブフェイム「愛読のみなさん、今号からひさうちみちお先生からバトンを受けて、栄えあるこの企画を担当することになりました。た「のイズ」です。どうぞよろしゅうに。」

記念すべき第一回は、ツッコミ担当の私、池上雅彦の故郷山科を、山科を訪れるのはまだ3度目という初心者、わが相方久田俊裕と共に、少年時代を振り返りつつ攻めてみようと思えます。

まず訪れたのは僕の母校その1、山科中学校。中学といえば初恋、僕の初恋はまさにこの山中(やまちゅう)時代でした。2年の時に1年先輩の近藤サンに淡い恋心を抱いたのがそれでした。その結末はまあ伏せておきますが、以来、年上の女の人とみると、ときめかすにはいられない体になってしまった次第です。この山科中学のすぐ側には、山科川という川が流れていまして、何故か無性に童心をかきたたられ、靴を脱ぐのもどかしく川に突撃。川遊びに興じてしまいました。相方は、僕の哀愁漂う感慨などこ吹く風。適当なことはつかり言っています。

ロケスタッフの予定もなんのその、ひとしきりはしゃいだ後、またフラフラ。

すると、「PALLAS」という舶来中古車を扱うお店に遭遇。僕好みのフランスのエアブリが染み込んだ車がズラリ並んでいるではありませんか。これがまた僕のセンスにぴったり。2CVで秋の京都を快走する僕。助手席にはバリジェンヌを気取る彼女が、その長い髪を風に遊ばせている。ああ、そんな光景が。後は免許を取るばかり…。

そして我々は次なる目的地、僕の母校その2、山階(さんかい)南小学校へ。そういえばこの学校前の旧国鉄官舎には、同級生の松下君が住んでいたっけ。今はどうしてるのかな。

お次は庶民の憩いの総合ストア外環沿いの「ヒカリ屋」へ。ここの1階のマルヨシっぽいほうのコロッケは懐かしの一品。僕の人生、このコロッケを5千個は食べてるんじゃないかな

ここばかりは久田も僕をちやかす余裕は全くなし。子供のころ必死でならんで買おうとした「ガンブラ」を見る目のまま。



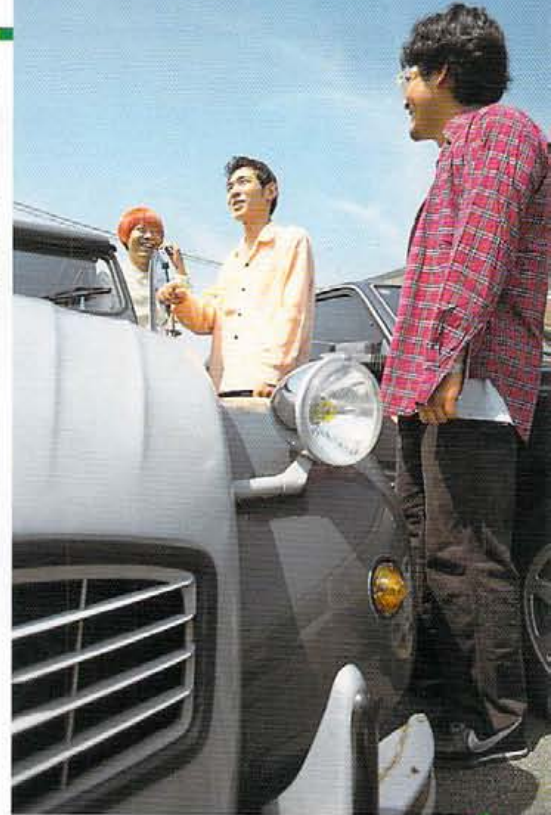
AUTO PALLAS

(アウトバス)

ADD;京都市山科区東野舞台町20-4
TEL:075-594-1128 営10:00~20:00 月休
店長の三浦さんが、5~6年前のある日、フランス車に乗り換えたら、「その佇まい、独特の乗り心地、気持ち良さに惚かれた」ということで、取り扱い車種は殆どフランス車。シトロエンやプジョー、ルノーの顔が並ぶ。



ご主人が750時間余りかけて制作したガンダムMk II 1/30スケールは、聞いて驚けブルスクラッチ! 10年以上前のバンダイの業界専門誌「B・CLUB」にこのモデルが掲載された時のご主人の誇らしげな顔。しかしご主人、えっらい若いでん。



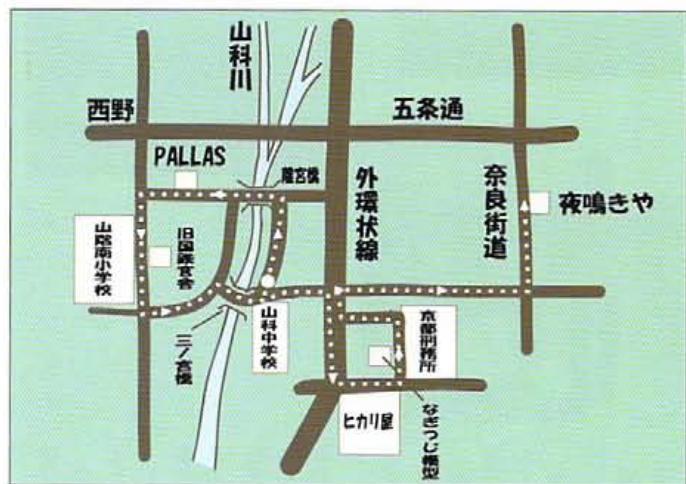
このいかにも程度の良さそうな車を見ると、欲しくなるのが人情ってもんです。なんやかんや言うて相手も店長さんに説明もろて機嫌よういじってます。

なぎつじ模型

ADD;京都市山科区樹辻中在家町21-6 TEL:075-591-5064 営10:00~20:00火休
その時は、大阪城の標本模型を製作中で、「完成まで2カ月はかかるな」「これで200万位かな。ま、下請けやから全部買える訳やないけどね(笑)」とのこと。久田にいたっては「この人がお父さんやったらよかった」などと訳わからんことをつぶやく始末。



「オツトメご苦労さんでしッ」「オウ」とのイズのコントネタ風。ちなみに京都刑務所はただ今近代設備にリニューアル中。



と、まだまだ山科の魅力はあるのですけれども、時間の都合もあり、そんなこんなで、第一回は終わっていきませんが、相方久田は「山科は思ってたより美人多いな」と言い残して奈良へ帰っていきました。どこと比較しているのやら。

お昼を過ぎてても口ケは続き、僕は空腹を抱えて山科一美味しいと噂される中華そば屋さん「夜鳴きや」へ。12時を1時間近くまわっているにもかかわらず、行列ができているところに、その美味しさがうかがえます。中華そばはもちろん、箸やすめのニンニクの醤油漬けの美味しかったこと。

そのすぐ近くにあるのが「京都刑務所」。子供の頃、受刑者の人達が、僕の家の近所を荷車を引きながら畑を耕しに向かうのを見たような覚えがあります。あの人の働く姿はでも、今思うと笑えないなあ。

ヒカリ屋を後にした直後、シヨウウインドウの中に巨大なガンダムを発見。思わず足を止め、「なぎつじ模型」という模型屋さん足を踏み入れる。セーラムーンやトヨタ2000GTボンドカー仕様のプラモデルが並ぶ店内に、普通の模型店かと思いきや、もともと家具職人だったというご主人の目下さん、実に精巧な標本模型を設計図から全て一人で製作するというウラの顔を持つとんでもナイお人なのであった。

ろうか。思い出してみれば、この屋上の中田カウス・ボタン師匠やオイル阪神・巨人師匠のステージをよく見にきたっけ。今でもその時買ったサインは大事にしています。あの頃はまさか自分が松竹の芸人になろうとは、夢にも思わなかったな、いや実際の話。

京このごろ

甘み・香り・つや、
今も伝え続ける
栗の魅力



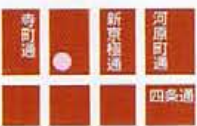
日本では万葉の昔よりその味と香りを多くの人に愛され、親しまれてきた栗。栗糖が普及していった当時、栗の持つ甘みは非常に珍重されてきた。中国生まれの焼き栗の技術は、その美味な味わいで日本の家庭の団らんには欠かせないものとして広く知られる。「林万昌堂」は明治四年の創業以来、甘栗の魅力をもっと伝える意識である。栗は小粒ながらも栄養素をたっぷりたたえた河北産産の「河北栗」(かほくりい)という甘栗を使用。甘みはもちろんだが、害虫の潜在もなく、栗独特の渋皮がきれいにとれるのも大きな特長である。味、形、品

質ともに焼き栗に最適とされる栗のサラブレッドといえよう。仕入れは現地の直接取引。毎年十月になるにわたる現地への買い付けは、気の遠くなるような手間暇をかけて行われる。「河北栗」の産地へたどり着くには北京からさらに車で六、七時間もガクガク道を走らなければならない。そして現地で一週間もかけて一粒一粒根気よく厳選していくのである。少しでも納得できないものは、疑わしいものは、絶対に使わない。こうして選抜された栗だからこそ、「林万昌堂」の技術に極上の「甘み」「香り」「つや」で応えてくれるのである。

甘栗の老舗 林万昌堂



■京都市下京区四条通り
新京極西
☎075・221・0258
●10:00~20:30/水休
(2Fに茶房も営業)



第一弾 山科編

2Fの書店の店員さん川崎千香さん。クラブフェイム、この号の発売の時はよろしく。



ヒカリ屋の1Fでお昼ご飯を物色中の女性は短大生の高道実樹子さん。びっくりさせてス mamma セン。

マルヨシいっぽう

ADD:京都市山科区柳辻草海道15 スーパーヒカリ屋山科店内 TEL:075-593-1754 営10:00~20:00 不定休
手造りの味・惣菜・弁当の店。と看板にあるように、ミンチカツ、天ぷらなど、フライもの全般やお惣菜が並ぶ。庶民の見方のホームラン王。コロッケこちそうさまでした。



ヒカリ屋の屋上で見つけたブリクラで撮影。ロケの撮影より気合が入ったのは言うまでもない。



夜鳴きや

ADD:京都市山科区大塚南満町36 TEL:075-592-9800 営11:00~18:00 月・第1、3日休
今や、生きた伝説とも言える奈良街道沿いの中華そば屋。



プレゼント

取材時に『のイズ』の二人が作ったブリクラのシートを、読者の中から4枚一組で4名様にプレゼントします。巻末のハガキに住所、電話番号、氏名と、「のイズのブリクラ希望」と一言お書き添えの上、クラブフェイム編集部までお送りください。厳正な抽選の後当選者に郵送致します。尚、当選者の発表は商品の発送をもってかえさせていただきます。締め切りはクラブフェイム次号12月号発売日まで。(当日消印有効)

